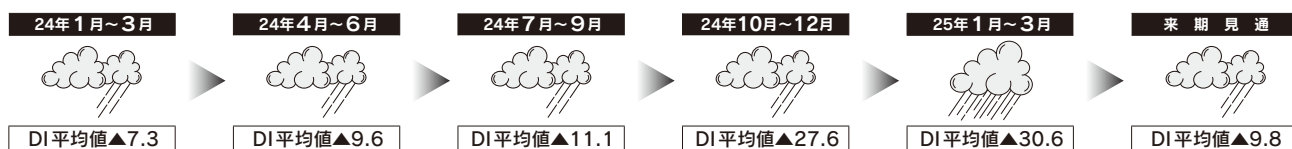


県内中小企業(製造業)景況動向

平成25年1月～3月期

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲21.7	▲28.6	▲46.8	▲26.6
前年同期比の売上高DIは▲42.0、収益性DIは▲51.6で、両方を合わせたDI平均値は▲46.8となり、「雨」模様に転じている。来期見通しは、20.2ポイント上昇して▲26.6となり、「小雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高DIは▲46.9、収益性DIは▲48.2となった。 また、雇用人員判断DIは不足、過剰とも13.8%で0.0、設備操業率DIは▲38.5、設備投資実施率は32.3%となった。			

繊維・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲24.3	▲30.0	▲32.8	▲21.5
前年同期比の売上高DIは▲24.2、収益性DIは▲41.4で、両方を合わせたDI平均値は▲32.8となり、「雨」模様に転じている。来期見通しは、11.3ポイント上昇して▲21.5となり、「小雨」模様に転じる見通しになっている。なお、前期比の売上高DIは▲39.3、収益性DIは▲33.4となった。 また、雇用人員判断DIは不足、過剰とも9.5%で0.0、設備操業率DIは▲31.6、設備投資実施率は0.0%となった。			



概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値（前年同期比）については▲30・6となり、前回調査（24年10～12月期）から3・0ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲9・8となっている。

売上高DI（前年同期比）については▲29・1となり、前回調査から5・1ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲6・5となっている。

設備操業率については、前期比で「上昇」したとする企業が6・

9%、「下降」したとする企業が27・0%で、DIについては▲20・1となり、前回調査から9・9ポイント下降している。

収益性DI（前年同期比）については▲32・1となり、前回調査から1・0ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲13・0となっている。

業況（前年同期比）については、「好転」したとする企業は8・2%、「悪化」したとする企業は37・6%で、DIは▲29・4となり、前回調査から2・1ポイント下降している。来期見通しにおいては▲11・5となっている。

原材料価格DI（前期比）については20・0となり、前回調査から15・2ポイント上昇している。販売価格DI（前期比）については▲6・1となり、前回調査から3・2ポイント上昇している。

資金繰りDI（前期比）については▲20・1となり、前回調査から5・1ポイント下降している。

金融機関の態度DI（前期比）については▲0・5となり、前回調査から2・7ポイント上昇している。

設備投資実施率については25・0%となり、前回調査より3・4ポイント上昇している。

紙・加工品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲47.1	▲38.3	▲18.8	▲6.3
前年同期比の売上高D Iは▲25.0、収益性D Iは▲12.5で、両方を合せたD I平均値は▲18.8となり、「小雨」模様に転じている。来期見通しは、25.1ポイント上昇して6.3となり、「曇」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲43.7、収益性D Iは▲25.0となった。 また、雇用人員判断D Iは▲12.5、設備操業率D Iは▲12.5、設備投資実施率は18.8%となった。			

木材・木製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲38.9	▲16.7	▲5.6	5.5
前年同期比の売上高D Iは11.1、収益性D Iは▲22.2で、両方を合せたD I平均値は▲5.6となり、「小雨」模様が継続している。来期見通しは、11.1ポイント上昇して5.5となり、「曇」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは0.0、収益性D Iは▲55.6となった。 また、雇用人員判断D Iは▲11.1、設備操業率D Iは▲22.2、設備投資実施率は11.1%となった。			

金属・同製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲1.4	▲26.3	▲51.4	▲26.9
前年同期比の売上高D Iは▲52.8、収益性D Iは▲50.0で、両方を合せたD I平均値は▲51.4となり「雨」模様に転じている。来期見通しは、24.5ポイント上昇して▲26.9となり、「小雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲38.9、収益性D Iは▲25.0となった。 また、雇用人員判断D Iは▲25.0、設備操業率D Iは▲33.4、設備投資実施率は22.2%となった。			

窯業・土石製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
19.6	▲12.5	22.5	50.0
前年同期比の売上高D Iは20.0、収益性D Iは25.0で、両方を合せたD I平均値は22.5となり「薄日」模様に転じている。来期見通しは、さらに27.5ポイント上昇して50.0となり、「晴」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲28.6、収益性D Iは▲27.7となった。 また、雇用人員判断D Iは5.5と唯一不足に、設備操業率D Iは▲5.6、設備投資実施率は33.3%となった。			

プラスチック製品

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
▲8.3	12.5	▲36.7	▲8.3
前年同期比の売上高D Iは▲33.3、収益性D Iは▲40.0で、両方を合せたD I平均値は▲36.7となり、「雨」模様に転じている。来期見通しは、28.4ポイント上昇して▲8.3となり、「小雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは0.0、収益性D Iは▲33.3となった。 また、雇用人員判断D Iは0.0、設備操業率D Iは▲16.7、設備投資実施率は50.0%となった。			

機械・機器

7-9	10-12	1-3	来期見通
			
1.1	▲35.2	▲33.7	▲13.3
前年同期比の売上高D Iは▲34.6、収益性D Iは▲32.7で、両方を合せたD I平均値は▲33.7となり「雨」模様が継続している。来期見通しは、20.4ポイント上昇して▲13.3となり、「小雨」模様に転じる見通しになっている。 なお、前期比の売上高D Iは▲32.1、収益性D Iは▲19.1となった。 また、雇用人員判断D Iは▲12.5、設備操業率D Iは▲6.8、設備投資実施率は34.6%となった。			